

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |    |              |
|----------------|-------------|----|--------------|
| ○事業所名          | 障害児学童保育所ばる  |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年 1月 17日 |    | ～ 令和7年 2月 6日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 18 | (回答者数) 15    |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年 1月 17日 |    | ～ 令和7年 2月 6日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 6  | (回答者数) 6     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 19日 |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                     |
|---|--|---|--|
| 1 | ・活動プログラム                                   | ・屋外活動と室内活動、手指を使った遊びや体全体を使った遊びなど、前後の活動を見ながら、様々な活動を取り入れている<br>・長期休暇における活動プログラムの立案は、1ヶ月前からチームで活動準備も含めて行っている                        | ・放課後における活動プログラムの立案は、当日のリーダーを中心として、全職員の意見を反映して行っていく |
| 2 | ・平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し、支援している        | ・子どもたちの発達段階に応じて、全体活動・個別活動・日常生活習慣(食事/排泄等)を設定している。また、行事等の際には、子どもたちに事前に伝えながら、臨機応変なスケジュールで支援している                                    | ・子どもたち一人ひとりの課題を踏まえ、全職員で共有し、今後も支援していく               |
| 3 | ・一人ひとりの子どもを丁寧に理解して支援している                   | ○子どもを理解するために必要な知識の習得の時間を確保している(発達段階、感覚統合、インリアルアプローチ、強度行動障害等)<br>○職員同士の学びあいや議論の時間を確保している<br>●毎日のレインボー会議の実施<br>●毎月の事業所会議・事例検討会の実施 | ・法人内の他事業所職員との学びあいの場をつくる<br>・地域で学びのサークルを立ち上げる       |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                    |
|---|--|--|---|
| 1 | ・家族の交流/地域や他児童クラブとの交流                       | ・子どもたちの障がい特性(特に行動障害)や程度により、同年代の子どもとの交流のあり方について、配慮点を洗い出し、整理する必要がある。 | ・職員・保護者・地域の方も含めて、意見を反映しながら交流する機会を検討していく |
| 2 |  |  |   |
| 3 |  |  |   |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児学童保育所ばる

公表日 令和7年2月 日

利用児童数 20名(うち兄弟2組)

回収数 15

|                                      | チェック項目  |      |               |     |       | ご意見               | ご意見を踏まえた対応            |
|--------------------------------------|---|------|---------------|-----|-------|-------------------|-----------------------|
|                                      |   | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない |                   |                       |
| 環境・<br>体制<br>整備                      | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。  | 87%  | 13%           | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。   | 80%  | 7%            | 0%  | 13%   |                   |                       |
|                                      | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。  | 80%  | 7%            | 0%  | 13%   |                   |                       |
|                                      | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。   | 87%  | 13%           | 0%  | 0%    |                   |                       |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供     | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。  | 87%  | 7%            | 0%  | 7%    |                   |                       |
|                                      | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。  | 93%  | 0%            | 0%  | 7%    |                   |                       |
|                                      | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。   | 87%  | 13%           | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 80%  | 7%            | 0%  | 13%   |                   |                       |
|                                      | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。  | 93%  | 7%            | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。  | 87%  | 7%            | 0%  | 7%    |                   |                       |
|                                      | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。   | 27%  | 7%            | 7%  | 60%   |                   |                       |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。   | 47%  | 7%            | 7%  | 40%   |                   |                       |
|                                      | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。  | 93%  | 7%            | 0%  | 0%    |                   |                       |
|                                      | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。  | 93%  | 0%            | 0%  | 7%    |                   |                       |
|                                      | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。         | 27%  | 7%            | 20% | 47%   | ・知的障害があることで退会しました | 子ども達の遊びが異なるため、難しいところ。 |

|         |    |  |      |     |    |     |                |  |
|---------|----|--|------|-----|----|-----|----------------|--|
|         | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 87%  | 0%  | 0% | 13% |                |  |
|         | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。  | 87%  | 0%  | 0% | 0%  |                |  |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。                           | 100% | 0%  | 0% | 0%  |                |  |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。   | 73%  | 13% | 0% | 40% |                |  |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。         | 47%  | 13% | 0% | 40% |                |  |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。   | 60%  | 0%  | 0% | 40% |                |  |
|         | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                                     | 73%  | 7%  | 0% | 20% |                |  |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                                      | 87%  | 7%  | 0% | 20% |                |  |
| 満足度     | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。   | 93%  | 7%  | 0% | 0%  |                |  |
|         | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。   | 100% | 0%  | 0% | 0%  | ・すごく楽しみにしています。 | 今後とも、子どもたちが楽しみに通所できるよう、スタッフ一丸となり工夫していきます |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。   | 100% | 0%  | 0% | 0%  |                |  |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名         |   | 障害児学童保育所ばる   |   | 公表日                          |  | 令和7年 2月 日   |   |
|--------------|---|--|---|------------------------------|--|---|---|
|              |   | チェック項目   |   | はい                           | いいえ  | 工夫している点   | 課題や改善すべき点                                 |
|              |   | 環境<br>・<br>体制<br>整備  | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○  |   | ・子どもたちが気持ちを解放しやすいような環境になっている(天井が高い、園庭がある) |
| 2            | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   |  | ○ |                              | ・配置基準は満たしていることは勿論のこと、個別対応が必要な子どもに対して1名の配置を工夫、支援している      | ・個別対応が必要な子どもが多いことを考えると、もう少し手厚く配置できた方がよい                           |   |
| 3            | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 |  | ○ |                              | ・フロア全体はバリアフリー化されており、玄関先は、手すりや、車いす等の方へ配慮された移動しやすい構造になっている |   |   |
| 4            | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 |  | ○ |                              | ・環境整備表(安全・衛生面含む)を作成し、空間を整えている                            |   |   |
| 5            | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  |  |   | ○                            | ・体調の悪い利用児がいる場合、静養室の利用                                    |   |   |
| 業務<br>改善     | 6   | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。   | ○ |                              | ・全職員の会議の中で計画作成と振り返りを行っている                                |   |   |
|              | 7   | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○ |                              | ・日頃のやりとりや面談等の中で出てこない意見もあり、支援の参考にしている                     |   |   |
|              | 8   | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○ |                              | ・レインボー会議(毎日)やばる会議(月1)にて意見交換する機会があり、業務改善につなげている           | ・もう少し職員が意見を出しやすいように工夫していく   |   |
|              | 9   | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |   | ○                            |  | ・法人として、第三者委員はいるが、鹿児島市在住であることがネックであることを踏まえ、もっと身近な地域の委員選出について検討していく |   |
|              | 10  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | ○ |                              | ・法人内研修/事業所内(職員のみ月1)/オンラインの研修あり                           | ・学んだことは実践で活かせるよう、振り返る機会を増やしていく                                    |   |
| 適切<br>な<br>支 | 11  | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  |   | ○                            |  | ・現在作成中  |   |
|              | 12  | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | ○ |                              | ・月に1度事例検討会議を開催   |   |   |
|              | 13  | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | ○ |                              | ・ばる会議(月1)<br>・事例検討会議(月1)                                 |   |   |
|              | 14  | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | ○ |                              | ・主に事例検討会議で共有し、計画を意識しながら個々にあった声掛けや促し等、支援している              |   |   |
|              | 15  | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | ○ |                              | ・半年に1度、発達の状況用紙を用いて、アセスメントを行い、確認している                      | ・よりよいものがあれば、検討していく  |   |
|              | 16  | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ |                              |  | ・次回からの個別支援計画は、より具体的にわかりやすいものを提示していく努力が必要である                       |   |
|              | 17  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | ○ |                              | ・その日のリーダー(常勤1名)が主になって決めているが、活動内容や支援も含め、困った時は都度話し合い決定する   |   |   |

|  |  |  |   |  |  |  |
|--|--|--|---|--|--|--|
| 援<br>の<br>提<br>供   | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | ○ |  | ・野外活動と室内活動、手指を使った遊びや体全体を使った遊びなど、前後の活動を見ながら、様々な活動を取り入れている     |  |
|  | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | ○ |  | ・子どもたち一人ひとりの課題を踏まえながら、計画を作成している                              |  |
|  | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | ○ |  | ・毎日のレインボー会議で打ち合わせは必ず行い、内容・役割分担など共有、連携をし支援に臨んでいる              |  |
|  | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | ○ |  | ・支援終了後に、まずは常勤のみで振り返り、翌日のレインボー会議でも非常勤の方も交え、気づいた点等を振り返り、共有している |  |
|  | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | ○ |  | ・業務日誌や個別に記録を残し、レインボー会議や事例検討で意見を出し合い、改善につなげている                |  |
|  | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | ○ |  | ・必要に応じて相談センターや学校等と連携をとりながら、次期の個別支援計画につなげている                  |  |
|  | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | ○ |  | ・毎年、職員会議の中で確認、共有する時間をつくり、ガイドラインを確認しながら支援を行っている               |  |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | ○ |  | ・活動前のおやつ選び<br>・活動の最中での遊びの展開時など                               |  |
|  | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | ○ |  | ・担当者会議には、自発管もしくは所長が参加し、情報共有している                              |  |
|  | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | ○ |  |  |  |
|  | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | ○ |  | ・保護者の情報をもとに、適宜学校と連携をとりながら、下校時刻の確認や子どもの様子など情報交換している           |  |
|  | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | ○ |  | ・移行する前段階で、一度見学に行き様子など確認したうえで、更に移行シートにて確認し、情報共有している           |  |
|  | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | ○ |  | ・必要に応じて、情報共有している   |  |
|  | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | ○ |  |  |  |
|  | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | ○ |  | ・未成年のボランティアの受け入れを長期休暇に募集し、交流につなげている                          | ・子どもたちの障害特性（特に行動障害）や程度により、同年代の子どもの交流のあり方について、配慮点を洗い出し、整理する必要がある。それを保護者を含めて検討していく |
|  | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | ○ |  | ・自立支援部会の中の子ども部会に所属し、会議等は、積極的に参加している                          |  |
|  | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | ○ |  | ・保護者の迎えがあった時、送迎時等、活動の様子を日々伝えている。必要に応じて、電話連絡も行っている            |  |
| 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○  |   | ・保護者が自分の子どもの行動を理解したり、障害特性をふまえた対応ができるよう支援している |  |  |
|  | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | ○ |  | ・新規契約時を含め、毎年の契約更新時や受給者証の更新時に説明を行っている。また、利用料等で質問があればその都度説明する  |  |
|  | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ |  |  |  |
|  | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | ○ |  |  |  |

|          |  |  |   |   |  |  |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | ○ |   | ・お迎え時や面談時等で話しを聞いている。<br>必要があれば、相談センターや他機関とも連携をとるが、まずは話しを聞くことを大切にしている       |  |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 |   | ○   |  | ・保護者の意見を反映しながら、参加しやすい保護者会を計画していく                         |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | ○ |   |  |  |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | ○ |   | ・毎月の通信の中で、活動の様子がわかるように画像を添付する。活動の目的を記すなどの工夫をしている                           |  |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | ○ |   | ・保護者に書類をお渡しする際、封筒に入れる書類の順番など配慮するなど、簡単に見えないようにしている                          |  |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | ○ |   | ・子ども一人ひとりに合わせたコミュニケーションができるよう配慮している。また、保護者の方とお話する際には、必要に応じて、別に機会を設けるなどしている |  |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  |   | ○   |  | ・コロナ等感染予防を含め、対外行事見送り<br>・今後まずは、地域の方や保護者を招いた事業所内行事を検討していく |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | ○ |   |  |  |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | ○ |   | ・職員だけの訓練、子どもたちも一緒に訓練、同一敷地内の他事業所との合同訓練をしている                                 |  |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | ○ |   |  |  |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   |   | ○   | ・アレルギーテストの結果は、保護者から情報提供してもらっている  | ・医師の指示に基づいた対応ができるよう、指示書の導入について検討する（実費をどうするか課題はある）        |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | ○ |   |  |  |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  |   | ○   |  |  |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | ○ |   | ・ヒヤリハットの事例は月報にて記載・報告共有し、再発防止策を検討している                                       |  |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | ○ |   | ・実践の質を高める＝虐待防止であるという認識のもと、事業所内外の研修に積極的に参加している                              |  |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○  |   | ・身体拘束を行う可能性のある子ども（自傷・他害等の行動障害等）の対応について、学習を重ねている |  |  |